

令和 6 年度 宗像市男女共同参画推進センター運営委員会議事録

日 時 令和 7 年 1 月 31 日 (金)

14 時 00 分 ~ 15 時 00 分

場 所 メイトム宗像 204 会議室

運営委員会委員 (名簿順)

出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前
○	横山 美栄子 委員	○	森 結花 委員	欠	木村 直喜 委員	○	塚本 けさ子 委員
○	原田 勝子 委員	○	三好 康之 委員	欠	青木 善裕 委員		

事務局: (市男女共同参画推進課: 八木・吉武、男女共同参画推進センター: 小島・梶谷・志原)

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進センター運営委員会 会長 原田 勝子様

○委員、●事務局

2 議事録について

議事録は、要約筆記で作成し、各回、委員より議事録署名人を選任する。今回は、森 結花委員とする。

3 議事

(1) 令和5年度実施事業の報告

●(事務局説明 センター資料 1、2)

事業は第3次宗像市男女共同参画プランに沿って計画・実施している。主催事業として、啓発講座 18 講座、チャレンジ講座 (資格取得講座) を 2 講座、また、地区コミュニティ、PTAなどの団体との共催講座 6 講座を実施した。また、相談業務、情報コーナーでは関連図書や DVD の貸出しを行っている。市の情報誌やホームページ、フェイスブック、新たに、インスタグラムを開設するなどの情報発信にも努めている。詳細については、資料 2 の P10~14 のとおり。

主な事業としては、講演会では、柔道家の山口香氏の講演に、会場参加 81 名、録画配信 30 名の参加があった。

分野別の講座実施状況は、『女性活躍推進』で就労に関する講座を 2 講座 4 コマ、『ジェンダー問題』で、男性の家事講座や、LGBTQの講座など計 5 講座、『エンパワーメント』で、災害時の避難所運営の講座、「女性に対する暴力をなくす運動期間」関連講座など計 5 講座を実施した。また、『子育て支援』で、多世代育児の講座など計 5 講座実施した。年 2 回の父子料理教室では定員 12 組、24 名に対して、毎回 3 倍程度の応募があるため、地域での同様の取り組みを今後支援していきたい。他に『リプロ』女性の健康支援講座は関心も高く、38 名の参加だった。それから、資格取得を目指した、チャレンジ講座、3 講座を開催した。医療事務は全 17 回、エクセル 3 級は全 8 回の講座。合格者と合格率は、医療事務が 9 名、70%、エクセルが 9 名 100%であった。

街頭啓発と展示等では、6 月の男女共同参画週間、11 月の女性に対する暴力をなくす運動期間、また 3 月の女性の健康週間では、チラシ等各 600 個を配布している (道の駅や商業施設等)。共催講座は、コミュニティ・センター等 4 件、PTA 1 件、市のコミュニティ協働推進課 1 件の計 6 講座を実施した。

最後に結工房は、利用件数 1372 件、利用者数 8945 人、稼働率は 79%となっている。

講座終了後、アンケート結果では、参加者は、女性 73%、男性 19%、年齢層は、30 代以下が 19%、40 代 25%、50 代 23%、60 代以上が 33%となっている。また、オンライン配信については、「オンラインを利用したい」46%、「講座によってはどちらとも言えない」38%となっている。また、「受信環境がない」は 8%程度だった。今後もオンラインを活用した、講座を増やしていきたいと考えている。

【質疑等】

○医療事務講座では、資格証明書等が発行されるのか。

●協会から認定証が発行される。履歴書に記載できる資格である。

○講座は有料か？

●有料で、医療事務の資格は 4 万円程度かかる。パソコン講座は 2 万円程度。

○託児付きなのはいいと思う。

●会場の施設使用が無料なので、一般の会場に比べると受講料は抑えられていると思う。

○女性の自立支援の取組は、とても大切なので、有料も仕方がない。オンライン受講ができるとさらに良いと思う。

○相談の関連で、LGBTQに関する相談もあるのでは…。関連講座を実施する予定はあるか。

●今年度、LGBTQの講座を実施した。センターで、毎年、講座は実施している。PTAや、コミュニティ・センターとの共催講座のメニューの中にも必ず取り入れるようにしている。

○本の貸出しをしているが、利用者が固定しているのではない。いい本がいっぱいあるので、もっとPRしてほしい。
●取り組んでいきたい。本を読む習慣がない方にも情報提供ができるよう、今後はDVDの貸出しにも力を入れたい。定期的にDVDを購入していきたい。各コミュニティの部会等、少人数でDVDを見て話しをするということでも、啓発効果は高いと考えている。
○30分程度の短いDVDを利用している。本当に良いと思うが、置いてあるDVDが、いつも同じで…。もう少し充実、新しいものもいれてほしい。

○資格取得講座は夜もやってほしい。さらに、コミセンなど自宅に近いところなら参加しやすいと思う。
●今は昼講座のみ。主に子育て等で一度離職した女性が、再復帰に備えるための、資格取得となっている。確かに、働きながら受講している方もいる。ただ、録画配信等が難しく、現状の体制では難しい。今後検討していく。
○難しいということだが、夜のオンライン講座にすると、もう少しアクセスしやすくなるかと思う。検討してほしい。

○応募多数で抽選になっている父子料理は、各コミセンにも開催を呼びかけてはどうか。
●提案していきたい。今年度から、共催講座の講師料をセンターが全額負担するようになったので、利用しやすくなっていると思う。積極的に共催講座を活用しているコミュニティを参考にしながら、他のコミュニティにも利用も増やして行ってほしい。
○赤間コミセンの男女部会の研修会に出たことがあるが、若い方も結構いて、いやいやかもしれないが、やっぱりその時間、参加し、意見交換することは有意義と思う。ほかの地域にも、広がってほしい。

○親子料理教室、応募が多く抽選となっているので、開催回数を増やしてはどうか。いろんなことを考える機会になるから。最近では60代、70代の男性の料理への関心も高い。コミュニティに分散して開催すれば、多くの参加が可能になる。

【審議結果】令和5年度実施事業報告については承認とする。本日の意見を今後の事業に生かしてほしい。

(2) 令和6年度事業実施状況について

●(事務局説明 センター資料3、4)

令和6年度事業については、主催事業が、講演会のほかに、女性活躍推進4講座、ジェンダー問題5講座、子育て支援2講座、エンパワーメント5講座、リプロ、国際理解、それぞれ1講座の件20講座を計画している。国際社会の中の男女共同参画をということでタイの方をお招きし、交流を図った。資格取得のチャレンジ講座はワードエクセルの3講座を実施している。共催事業は8講座を計画していて、6年度からは、講師費用全額をセンターで負担するようにしている。また、共催講座でメニューは前年度5講座を、6年度は7講座に増やしている。共催講座は、地域での参加者が増えるよう、土曜日や夜間に多く開催している。12月末現在、主催講座は当初計画どおりに進捗している。6年度の重点事業として、配信事業は3件を実施している。6月の男女共同参画講演会、参加者が105名のうち、51名、半数が録画配信での参加になっている。また、子育て支援事業として地域教育連携室、人権対策課との共催で、小中学校の保護者と関係者を対象に、インターネットリテラシーに関する啓発講座を開催した。会場参加36名、録画配信は50名の参加でした。それから女性活躍推進事業で働く女性のための法律講座を開催した。会場参加は8名で録画配信の参加は18名だった。平日参加が難しい若年層や、来場が困難な高齢者の増加が今後見込まれることから、今後、配信事業中心の講座も組立てていきたい。次に共催講座については、社会福祉協議会ほか5件の講座を実施しました。3月までに、あと2件の講座が入っているため、年間7件の実施見込みとなる。

【質疑等】

○各地区の福祉会とかでも共催講座はできるのか？

●はい。DVD貸出しのみ、講師派遣の講座、どちらでも可能である。

○共催講座の実施は、最大8講座までということか。

●当初の予算で講師料負担は8講座を見込んでいるということ。状況によっては8件を超える場合もある。

○企業、事業所も共催は可能か。

●可能である。モラハラなど事業所が抱える問題もあるので、積極的に企業にも活用してほしい。

○女性活躍推進法が改正され、小さな事業所でも、例えばジェンダー統計みたいなものを出すよう、変わってきている。例えば男性が育休どれくらいとっているかみたいな講座など、もうちょっと広がりのある企業とのつながりも、出てくればいいと思う。

○「家庭教育学級」、なんですかね、このネーミング、御検討頂けたらと思う。

●市のほうで検討していく。

○オンライン、録画配信の経費について伺いたい。

●1件で4万4000円。録画して、YouTube配信(一週間程度)の経費。

○でもやっぱり、若い世代には、いいですね。

【審議結果】令和6年度事業実施状況に係る報告については承認とする。多くの市民に啓発が届くように計画に沿って、取組を進めていただきたい。

議事録署名人

宗像市男女共同参画推進センター運営委員会 委員

森 結花
